

# 令和2年度一般会計の決算見込について

## 1 決算規模

- (1) 歳入、歳出ともに7年連続で前年度決算額を上回った。
- (2) 歳入は、7,860億6,200万円で、対前年度20.1%増となった。
- (3) 歳出は、7,809億8,000万円で、対前年度20.0%増となった。

〈決算規模の状況〉

区分	2年度 A	元年度 B	差引額 A-B	伸び率
歳入	7,860億6,200万円	6,547億6,500万円	1,312億9,700万円	20.1%
歳出	7,809億8,000万円	6,508億7,100万円	1,301億900万円	20.0%

〈決算伸び率の推移〉

※各年度の決算額の推移は別紙参照

区分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
歳入	0.1%	6.5%	2.2%	1.4%	20.1%
歳出	0.4%	6.6%	2.3%	1.3%	20.0%

## 2 決算収支

- (1) 形式収支は、50億8,200万円の黒字となった。
- (2) 実質収支は、18億6,400万円の黒字となった。
- (3) 単年度収支は、2,900万円の黒字となった。

〈決算収支の状況〉

歳入 A	歳出 B	形式収支 A-B	繰越事業費充当財源 C	実質収支 A-B-C
7,860億6,200万円	7,809億8,000万円	50億8,200万円	32億1,800万円	18億6,400万円

〈実質収支等の推移〉

区分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
実質収支	24億2,900万円	24億4,900万円	18億600万円	18億3,500万円	18億6,400万円
単年度収支	2,700万円	2,000万円	▲6億4,300万円	2,900万円	2,900万円

※単年度収支：当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額

## 3 市税収入

市税収入は、2,367億4,800万円となり、法人市民税の法人税割の税率引下げや、新型コロナウイルス感染症に伴う徴収猶予の影響等により、前年度決算額に対して30億2,400万円の減と、8年ぶりに減収となった。

なお、税率引下げ及び徴収猶予に伴う市税減収分については、法人事業税交付金及び猶予特例債等により財源手当てがされている。

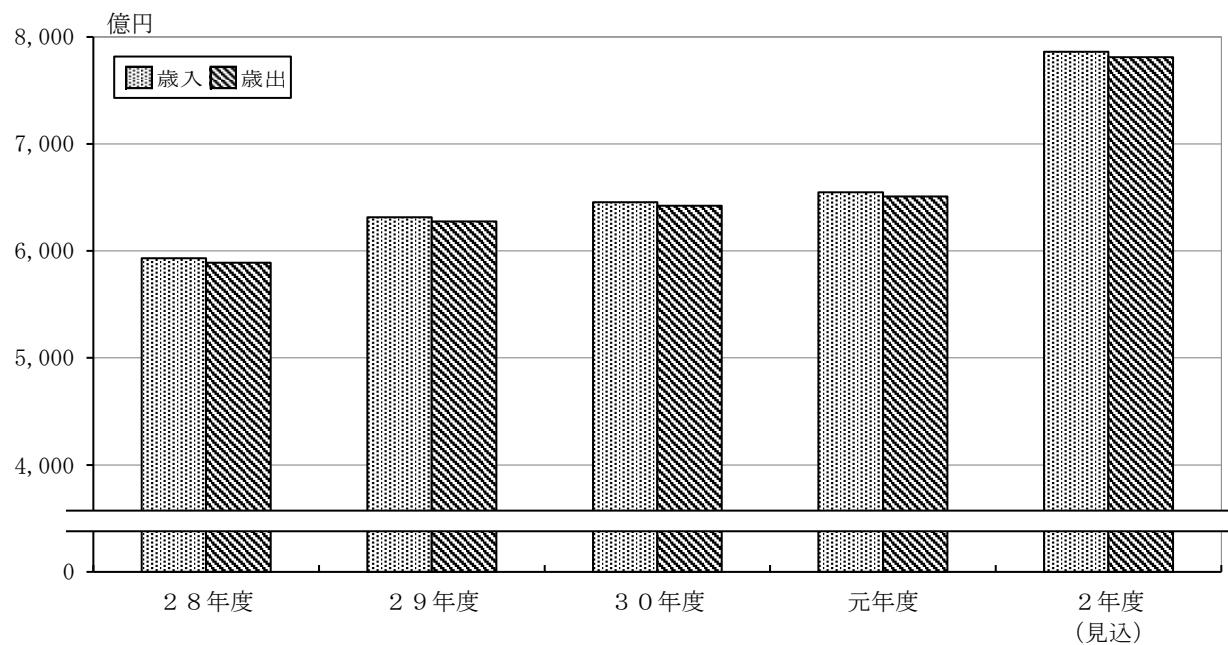
〈市税収入の状況〉

区分	2年度 A	元年度 B	差引額 A-B	伸び率
市税収入見込額	2,367億4,800万円	2,397億7,200万円	▲30億2,400万円	▲ 1.3%
うち個人市民税	1,020億8,100万円	1,009億1,900万円	11億6,200万円	1.2%
うち法人市民税	194億1,500万円	229億3,400万円	▲35億1,900万円	▲15.3%
うち固定資産税	823億1,500万円	826億円	▲2億8,500万円	▲ 0.3%

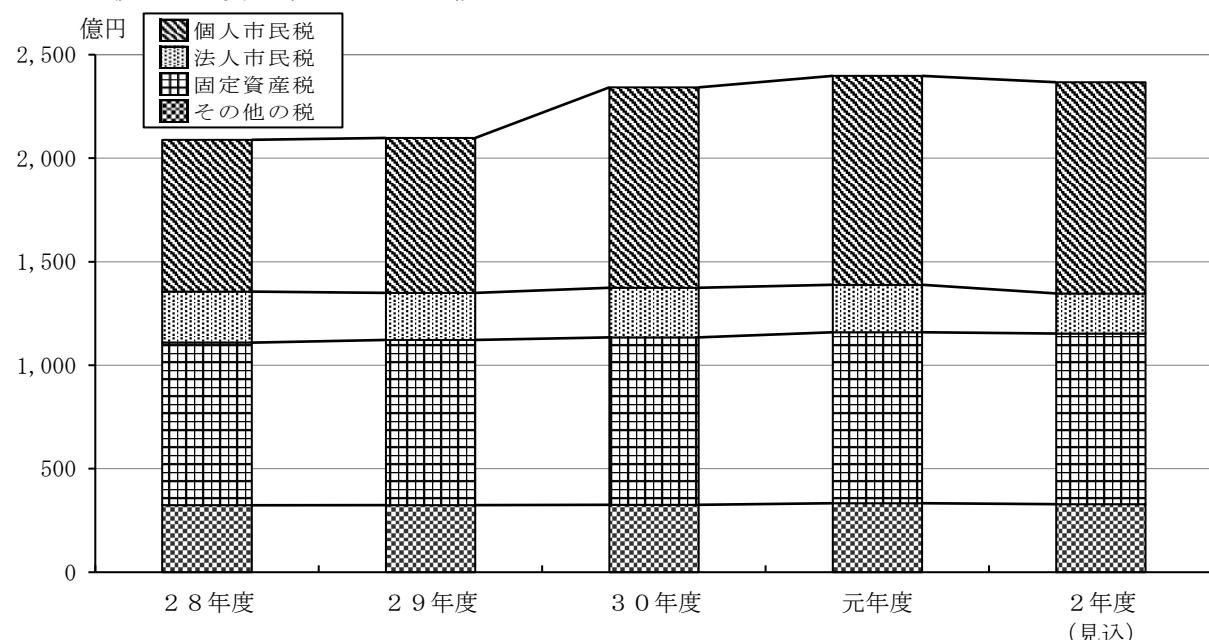
〈市税収入伸び率の推移〉※各年度の市税決算額の推移は別紙参照

区分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
伸び率	1.5%	0.4%	11.6%	2.4%	▲1.3%

## 1 一般会計決算額の推移



## 2 市税決算額の推移



区分	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度(見込)	
	決算額 億 万円	伸び率 %								
市税全体	20888400	1.5	20976200	0.4	23418700	11.6	23977200	2.4	23674800	▲1.3
個人市民税	7339900	2.3	7483800	2.0	9678300	29.3	10091900	4.3	10208100	1.2
法人市民税	2458300	1.4	2272700	▲7.5	2393000	5.3	2293400	▲4.2	1941500	▲15.3
固定資産税	7856300	1.3	7975100	1.5	8084000	1.4	8260000	2.2	8231500	▲0.3